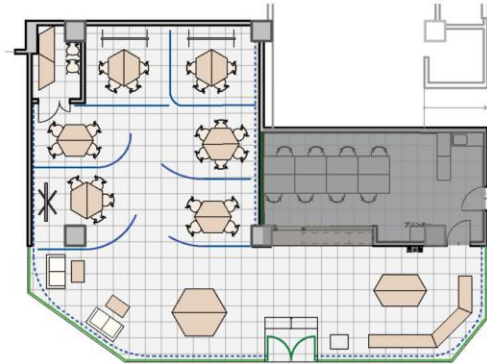


「阿波っ子意見表明推進事業委託業務」 質問に対する回答

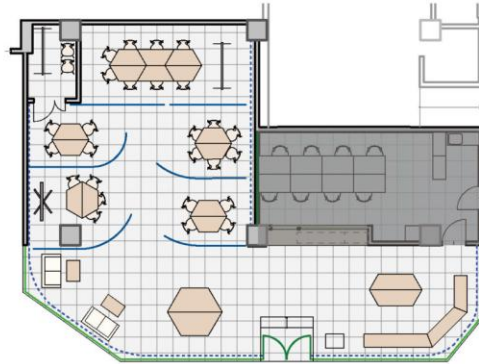
箇所	質問	回答
仕様書 4 (1)	阿波っ子未来会議の委員募集・委員選定は県が行う理解でよいでしょうか。受託者が担う範囲（募集広報、応募受付、一次連絡等）があればご教示ください。	阿波っ子未来会議の委員の選定は、県で実施しております。
仕様書 4 (1)	「グループワーク参加 計10回以上」の「10回以上」は、開催回数を指すのか、延べ参加回数を指すのかご教示ください。また、オンラインのみで実施した回も回数に含めてよいかがご教示ください。	グループワークについては、委員が受託者を交えて、日程等を協議し、自主的な運営を進めることが基本と考えております。 そのため、委員の意向により、開催回数がグループによって異なることに加え、開催時間によっては、すべての回に受託者がファシリテーターとして同席することが困難であると考えことから、回数は延べ参加回数で構いません。 ただし、グループワークの開催状況の把握に努め、進捗が十分でないところには活動を促す等支援願います。 オンライン実施は、回数に含んでいただいて、問題ありません。
仕様書 4 (1)	阿波っ子未来会議のグループワークで現地調査を実施する場合、委員の旅費やイベント保険に加入する際の保険料は委員負担という理解でよいでしょうか。	委員の旅費については、個人負担をお願いしますが、イベント保険料につきましては、受託者側での支出をお願いします。
仕様書 4 (1)	阿波っ子未来会議の運営で、全体報告書の作成期限が令和8年10月末となっていますが、この全体報告書には阿波っ子未来会議の全体会議の最終回で出た意見に対する関係課からのフィードバックや施策反映状況を掲載する想定でしょうか。	全体報告書については、阿波っ子未来会議の運営に掛かる範囲のもので問題ありません。 阿波っ子未来会議の委員の提案については、翌年度以降の事業に向けて、各部署に提案するものと考えており、フィードバックや施策の反映状況までは、作成期限内に提示することは困難と考えております。
仕様書 4 (2)	「利用者数：のべ600人以上」について、「のべ」の考え方（同一人物の複数日利用、短時間滞在、イベント参加者の扱い等）をご教示ください。	利用者数の把握に関しては、仕様書(2)エにおける来場者の利用に関する把握において、実施します。 同一人物の複数日数利用や、短時間の滞在については、利用ごとに確認を実施すれば、回数に応じて、のべ人数としてカウントいただくことは問題ありません。 また、イベント参加者についても、受託者側が運営するもので、受付等人数を把握しているものであれば、問題ありません。
仕様書 4 (2)	「toku-Noix（とくのわ）」の一角を用いる居場所運営に関し、一角とは具体的にどちらでしょうか。また、会場使用料、光熱水費、Wi-Fi等の通信環境、机・椅子等の基本備品は、県または施設運営元負担と理解してよいでしょうか。受託者負担となる費用の範囲をご教示ください。	今後運営に当たっての協議を進める中で決定しますが、「toku-Noix（とくのわ）」は、会員制のコワーキングスペースとしての利用が前提となっており、そのスペース確保の観点から、全面利用は困難であり、概ねコワーキングスペース、会議室以外のエリアを想定しています。（詳細は、別紙レイアウトイメージ図を参照ください。） また、運営元等が開催するイベントでの利用時にもエリアが制限される予定です。 会場使用料、光熱水費、机・椅子等の基本備品につきましては、施設運営費の一環となりますので、不要です。 Wi-Fi等の通信環境についても利用可能ですが、動画等大規模データの取り込み等を行うと、コワーキングスペースで業務をされている方に影響が及ぶ可能性がありますので、利用にあたって注意喚起をお願いします。
仕様書 4 (2)	居場所運営時の「開設時間内は、施設に1人以上を常駐させる体制」について、toku-Noix運営元の常駐者とは別に、受託者が専任で配置する必要があるかご教示ください。あわせて、利用者対応上の課題が生じた場合の一次対応の責任分界についてもご教示ください。	受託者側で専任で配置願います。 一次対応の責任分界につきましては、業務実施の範囲内において、利用者の責が明確な故意による器物の破損を除く、運営に伴い生じた器物の破損等は、受託者側が責任を負うものとしませんが、通信の不具合等施設側に拠るものについては、運営元での対応と考えております。 責任分界が不明な案件が生じた場合は、運営元、県とともに協議し、決定します。
仕様書 4 (3)	いけんひろば（出張型）開催の3箇所について、開催時期の期限はありますでしょうか。例えば来年度予算要求に聴取意見を反映させるのであれば、関係課への聴取意見の提供は7月頃と思われる、意見の取りまとめ期間から逆算して6月中には3箇所での開催を終了している必要があるかと考えます。	翌年度予算に反映させるための資料として提供することから、10月末には取りまとめを進めることを想定しており、概ね9月内には開催を終了していることが望ましいと考えております。
仕様書 4 (1)・4 (3)	県内3箇所で開催する「いけんひろば（出張型）」及び阿波っ子未来会議の最終回全体会議について、県が指定または確保する施設に使用料・設備使用料等が生じる場合の費用負担区分をご教示ください。	「いけんひろば（出張型）」につきましては、施設を訪問の上、実施しますので、利用料は発生しないと考えております。阿波っ子未来会議の最終全体会議の開催にあたり、使用料が発生する場合の負担は、受託者側の負担でお願いします。

○toku-Noix (とくのわ) レイアウトイメージ図

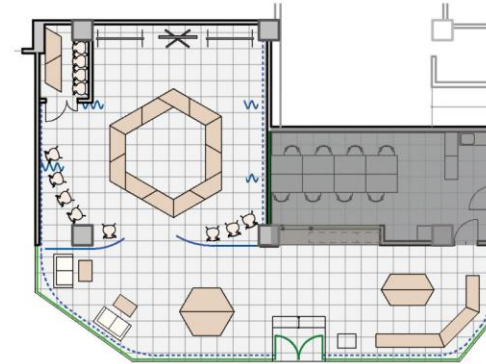
toku-Noix(とくのわ) 各レイアウトの利用想定人数



・個室コワーキング
4人×5室+6人×1室
最大26人



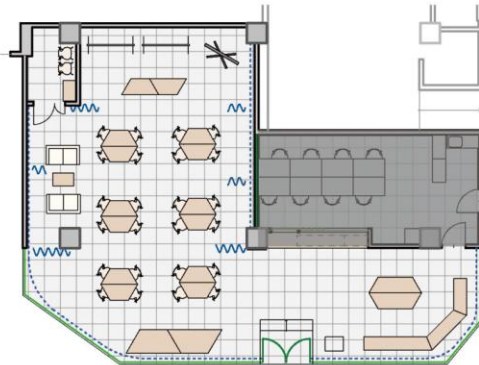
・会議室+個室コワーキング
4人×3室+6人×1室+8人会議室
最大26人



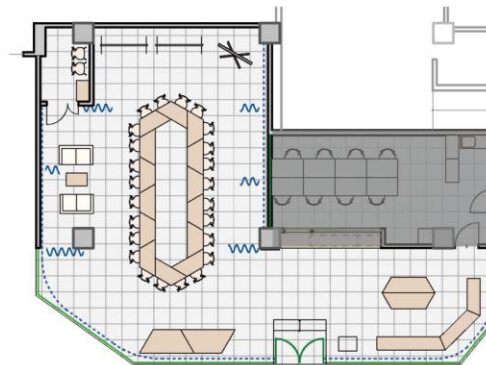
・ワークショップ(小)
机連結[輪] 12人(立ち作業)+8人(チェアのみ)
最大20人



・セミナー
机連結[横] 21人(机アリ)+5人(チェアのみ)
最大26人



・ワークショップ(大)
4人×6(机アリ)+4人(エンガワベンチ)+4人(ソファ)
最大28人



・大きな会議
机連結[輪]
最大24人

toku-Noix (とくのわ) ホームページ (<https://toku-noix.jp/>) より引用